



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月5日

上場会社名 山一電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6941 URL <https://www.yamaichi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 亀谷淳一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員管理本部長 (氏名) 松田一弘 TEL 03-3734-0115

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	19,893	35.8	5,953	55.8	6,161	63.0	4,326	55.3
2026年3月期第1四半期	14,650	△3.1	3,820	△8.6	3,778	△15.8	2,786	△12.4

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 4,605百万円 (72.0%) 2026年3月期第1四半期 2,678百万円 (△33.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	234.44	—
2026年3月期第1四半期	150.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	66,308	49,212	74.0	2,658.17
2026年3月期	63,253	46,706	73.6	2,521.98

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 49,060百万円 2026年3月期 46,547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	35.00	—	113.00	148.00
2027年3月期	—				
2027年3月期 (予想)		65.00	—	103.00	168.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

配当予想の修正については、本日 (2026年8月5日) 公表いたしました「2027年3月期中間期及び通期連結業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	35,900	34.3	9,300	44.9	9,300	43.2	6,400	37.6	346.70
通期	65,800	24.9	15,000	29.8	14,900	22.9	10,300	13.5	557.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

当社は取締役会決議に基づく自己株式の消却及び処分を行っており、連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては当該自己株式の消却及び処分の影響を考慮しております。

連結業績予想の修正については、本日 (2026年8月5日) 公表いたしました「2027年3月期中間期及び通期連結業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年3月期1Q	20,529,775株	2026年3月期	21,829,775株
2027年3月期1Q	2,073,415株	2026年3月期	3,372,855株
2027年3月期1Q	18,456,794株	2026年3月期1Q	18,490,411株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では好調なA I関連分野の設備投資に牽引され、底堅い成長が続きました。欧州では緩やかな回復が続いた一方、中国では内需の減速により景気は弱含みとなりました。また、米国の通商政策の変化に加え、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の高騰や、燃料・原材料価格の上昇、供給面への懸念が続いたことから、先行き不透明な状況が続いております。為替相場は、前連結会計年度に引き続き、円安基調が続きました。

当社グループが事業を展開する電子部品市場においては、A I関連投資の拡大を背景に、半導体及びデータセンター関連市場が好調に推移しました。また、産業機器市場では在庫調整の進展に伴い回復基調が続いた一方、自動車市場ではE Vの減速の影響で低調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、2026年度を初年度とする3ヵ年の山一電機グループ第5次中期経営計画（2027年3月期～2029年3月期）を策定し、引き続き「お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社への成長」を目指すこととし、この経営目標の達成にあたり「お客様と共にグローバルに連携し、未来につながる製品の創造」という観点から取り組んでおります。経営戦略としては、「成長戦略」と「構造改革」をさらに深耕し、お客様のニーズに応えられる企業に成長することに向けて取り組んでおります。また、中長期的な視点で経営課題を捉え、事業・組織の両面から成長基盤を強化するとともに、人的資本の充実、サステナビリティ活動の推進及びガバナンスの強化等を通じた非財務価値の向上に取り組んでおります。あわせて、成長投資を着実に実行し、資本効率を高めることで、財務・非財務の両面から企業価値を向上させ、持続的な成長の実現を目指しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高19,893百万円（前年同期比35.8%増）、営業利益5,953百万円（前年同期比55.8%増）、経常利益6,161百万円（前年同期比63.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,326百万円（前年同期比55.3%増）となり、四半期連結会計期間として、売上高及び利益はいずれも過去最高となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[テストソリューション事業]

テストソケット分野では、スマートフォン向けの出荷が計画を上回ったほか、ウェアラブル機器及び自動車向けの出荷も寄与したことに加え、バーンインソケット分野では、メモリー半導体顧客のライン増強に向けた投資を背景に出荷が好調に推移し、売上高及び利益を押し上げました。一方、ロジック半導体向けバーンインソケットは、自動車向けを中心に顧客の投資先送りの影響を受け、低調に推移しました。事業全体では、金や銅等の原材料価格高騰の影響があったものの、為替相場が前年同期に比べ円安で推移したことも寄与し、四半期連結会計期間として売上高及び営業利益はいずれも過去最高となりました。

その結果、売上高11,293百万円（前年同期比35.6%増）、営業利益4,645百万円（前年同期比52.5%増）となりました。

[コネクタソリューション事業]

通信機器向けでは、A I関連を含むデータセンター向けの出荷が計画を大きく上回りました。また、基幹系通信機器向けの出荷も順調に進んだことと、産業機器向けでは、主要市場である欧州顧客の出荷回復に加え、半導体検査装置向けの出荷も増加し、売上高及び利益を押し上げました。一方、車載機器向けは、E V市場の減速等の影響を受け、低調に推移しました。事業全体では、金や銅等の原材料価格高騰の影響があったものの、為替相場が前年同期に比べ円安で推移したことも寄与し、四半期連結会計期間として売上高及び営業利益はいずれも過去最高となりました。

その結果、売上高8,236百万円（前年同期比39.3%増）、営業利益1,564百万円（前年同期比103.4%増）となりました。

[光関連事業]

医療機器、産業機器及び通信機器向けは堅調な動きとなりましたが、民生機器向けが市場調整の影響を受け、売上高及び利益の減少要因となりました。

その結果、売上高363百万円（前年同期比10.7%減）、営業利益40百万円（前年同期比35.5%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当四半期連結会計期間末における流動資産は43,417百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,927百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当、賞与の支給及び法人税等の支払いにより現金及び預金が879百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が4,343百万円増加したことによるものであります。固定資産は22,891百万円となり、前連結会計年度末に比べ127百万円増加いたしました。

この結果、総資産は66,308百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,055百万円増加いたしました。

(負債)

当四半期連結会計期間末における流動負債は13,783百万円となり、前連結会計年度末に比べ522百万円増加いたしました。これは主に、賞与引当金が325百万円減少したものの、その他流動負債の賞与支給に係る未払社会保険料及び社会保険料預り金が増加したことによるものであります。固定負債は3,312百万円となり、前連結会計年度末に比べ26百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は17,096百万円となり、前連結会計年度末に比べ549百万円増加いたしました。

(純資産)

当四半期連結会計期間末における純資産合計は49,212百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,505百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当2,085百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益が4,326百万円となったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は74.0%（前連結会計年度末は73.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月13日に公表いたしました2027年3月期（2026年4月1日～2027年3月31日）の連結業績予想につきまして、本日公表の「2027年3月期中間期及び通期連結業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,790,585	16,911,030
受取手形及び売掛金	9,191,588	13,535,497
電子記録債権	343,164	364,305
商品及び製品	4,549,031	4,689,930
仕掛品	545,227	415,555
原材料及び貯蔵品	4,664,673	5,366,252
その他	3,434,616	2,187,587
貸倒引当金	△29,665	△53,018
流動資産合計	40,489,221	43,417,141
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,672,255	5,644,272
機械装置及び運搬具（純額）	2,953,238	2,811,537
工具、器具及び備品（純額）	2,056,887	2,159,531
土地	4,255,297	4,263,048
リース資産（純額）	64,434	68,189
使用権資産（純額）	3,515,377	3,427,034
建設仮勘定	690,856	861,900
有形固定資産合計	19,208,348	19,235,515
無形固定資産	1,564,311	1,648,000
投資その他の資産		
投資有価証券	71,395	72,724
繰延税金資産	584,788	607,194
退職給付に係る資産	885,638	891,613
その他	449,348	436,440
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,991,171	2,007,973
固定資産合計	22,763,831	22,891,489
資産合計	63,253,053	66,308,630

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,530,274	3,704,603
短期借入金	3,142,570	2,862,080
リース債務	515,695	517,433
未払法人税等	1,802,179	1,936,455
賞与引当金	1,381,435	1,056,252
役員賞与引当金	—	81,000
その他	2,888,670	3,625,801
流動負債合計	13,260,826	13,783,626
固定負債		
長期借入金	30,000	20,000
リース債務	2,295,251	2,217,653
訴訟損失引当金	182,492	184,423
その他の引当金	3,198	8,250
退職給付に係る負債	136,159	152,365
資産除去債務	41,833	42,275
その他	597,116	687,900
固定負債合計	3,286,052	3,312,869
負債合計	16,546,878	17,096,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,084,103	10,084,103
資本剰余金	1,728,582	1,623,633
利益剰余金	36,948,021	36,832,738
自己株式	△6,386,476	△3,925,559
株主資本合計	42,374,230	44,614,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,056	17,910
為替換算調整勘定	4,168,838	4,438,616
退職給付に係る調整累計額	△12,186	△11,313
その他の包括利益累計額合計	4,173,709	4,445,212
非支配株主持分	158,234	152,006
純資産合計	46,706,174	49,212,134
負債純資産合計	63,253,053	66,308,630

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	14,650,784	19,893,195
売上原価	8,303,316	10,694,039
売上総利益	6,347,467	9,199,156
販売費及び一般管理費	2,527,036	3,245,403
営業利益	3,820,431	5,953,752
営業外収益		
受取利息	12,315	16,760
為替差益	—	221,126
スクラップ売却益	2,754	17,583
助成金収入	1,724	25,157
その他	13,203	16,493
営業外収益合計	29,996	297,121
営業外費用		
支払利息	48,832	51,428
為替差損	10,809	—
固定資産除却損	9,632	33,632
その他	2,348	4,763
営業外費用合計	71,622	89,825
経常利益	3,778,805	6,161,048
特別利益		
固定資産売却益	6	734
特別利益合計	6	734
税金等調整前四半期純利益	3,778,812	6,161,783
法人税、住民税及び事業税	1,009,191	1,844,599
法人税等調整額	△14,216	△15,892
法人税等合計	994,975	1,828,706
四半期純利益	2,783,836	4,333,076
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,576	6,139
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,786,413	4,326,937

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	2,783,836	4,333,076
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,315	853
為替換算調整勘定	△110,465	271,140
退職給付に係る調整額	1,899	872
その他の包括利益合計	△105,250	272,866
四半期包括利益	2,678,586	4,605,942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,683,487	4,598,440
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,900	7,502

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	テストソリューション事業	コネクタソリューション事業	光関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	8,331,199	5,912,481	407,103	14,650,784	—	14,650,784
セグメント間 の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	8,331,199	5,912,481	407,103	14,650,784	—	14,650,784
セグメント利益	3,046,763	769,124	62,910	3,878,797	△58,366	3,820,431

(注) 1. セグメント利益の調整額は、連結調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	テストソリューション事業	コネクタソリューション事業	光関連事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	11,293,064	8,236,716	363,414	19,893,195	—	19,893,195
セグメント間 の内部売上高	—	—	—	—	—	—
計	11,293,064	8,236,716	363,414	19,893,195	—	19,893,195
セグメント利益	4,645,834	1,564,482	40,590	6,250,906	△297,154	5,953,752

(注) 1. セグメント利益の調整額は、連結調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年5月13日開催の取締役会決議に基づく自己株式1,300,000株の消却により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が2,461,537千円、資本剰余金が104,948千円及び利益剰余金が2,356,588千円それぞれ減少しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において、自己株式は3,925,559千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	724,902千円	754,185千円